

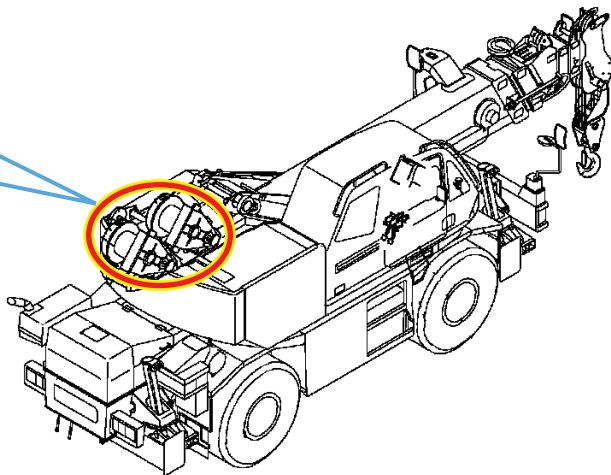
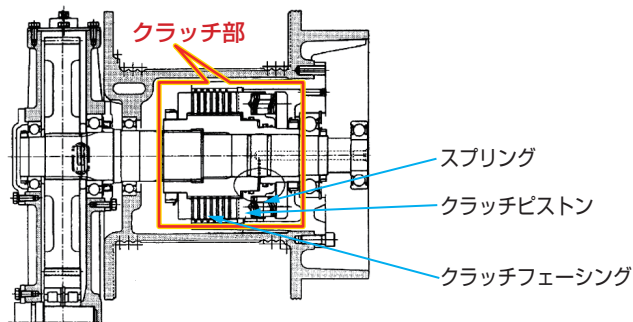
タダノサービス情報 <ラフテレーンクレーン>

TSV16-047

「内蔵型ウインチクラッチ」の滑り点検について

内蔵型ウインチクラッチを採用している一部の機種において、経年使用に伴うクラッチ部の部品の消耗・劣化により、クラッチ保持力が低下し、滑りが生じた事例が発生しております。ウインチクラッチの保持力が低下した状態でクレーン作業を続けると、つり荷が降下するなど、重大事故に繋がる可能性があります。大変危険です。

【内蔵型ウインチクラッチの断面】



<点検時期>

1年毎、もしくはウインチに異常が認められた時。

<点検要領>

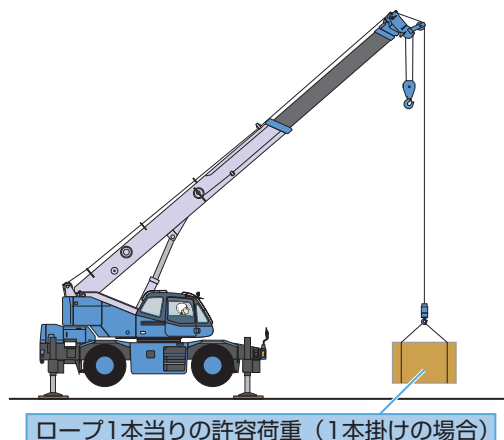
- ① 主巻ウインチ、補巻ウインチそれぞれに実施してください。
- ② ウインチワイヤロープ1本当りの荷重が「ウインチワイヤロープ1本当りの許容荷重」（下表参照）となる様にウエイトの準備とワイヤ掛け数の調整を行ってください。
- ③ ウインチ操作をしていない時はウインチの自動ブレーキが効いているため、つり荷が上がらない程度に微動巻上げ操作(ウインチの自動ブレーキを開放した状態)をしてつり荷が降下しないことを確認します。

<注意事項>

- ・ ウインチのワイヤロープ等に異常が無いことを確認し、ブームの定格総荷重を超えない状態で点検してください。
- ・ 吊荷が降下すると危険ですので、吊荷は高く吊り上げず、地切りしたところで点検してください。
- ・ 異常があった場合はクレーン作業をせず、タダノ指定サービス工場にて修理を行ってください。

【内蔵型ウインチクラッチ採用機種】

機種	ウインチワイヤロープ 1本当りの許容荷重	
	主巻ウインチ	補巻ウインチ
GR-120N-1(ウインチ自由降下付)	1.50t	1.80t
TR-160M-3	2.67t	3.00t
TR-200M-5	3.33t	3.50t
TR-250M-7	3.17t	3.50t
GR-250N-1(ウインチ自由降下付)	3.17t	3.50t
GR-300N-1(ウインチ自由降下付)	3.75t	4.00t
GR-350N-1	3.50t	3.50t



詳しくはクレーンに付属の取扱い説明書を参照願います。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成